

誰一人取り残さない 安全安心なやさしいまちを目指して

## Re Start

まちづくり推進課（内線326）

### Vol.14 追い込まれていく若者

若者による世間を騒がす重大事件が多く報道されています。彼らは、主にいわゆる「闇バイト」に関わったことで、主犯格に弱みを握られ、あるいは脅され、特殊詐欺犯罪などに巻き込まれてしまいます。

特殊詐欺犯罪に関わると、銀行のデータベース上で反社会勢力構成員と同等の扱いとなり、出所後も銀行口座は開設することができず、賃貸契約や携帯電話などの契約が難しくなるようです。その結果、住むところを失ったり、信用を無くしたりすることで生きづらさを感じ、再び罪を犯さざるをえない状況に追い込まれてしまいます。

「簡単な金儲け」には裏があり、取り返しのつかないことになる。

情報過多な時代、若者が危険な情報にも触れてしまっていることを、私たち大人も理解しなければいけません。

人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

## 人権のまど

まちづくり推進課（内線326）

### 働く人の人権

働く人の人権に関する問題は、長時間労働や休暇の取りにくさなどから健康で文化的な生活が送れない、育児や介護との両立に必要な休暇（休業）が取りづらい、非正規雇用者と正規雇用者の待遇の差が大きくなっている、などがあります。

令和3年度に労働基準監督署が実施した監督指導結果によると、対象となった32,025事業場のうち、10,986事業場（34.3%）で違法な時間外労働が確認されました。

ストレスの経過には3つの段階（警告期・抵抗期・疲はい期）があるといわれ、疲はい期になってしまうと、心拍・血圧・体温などの生体反応が低下し、最悪の場合は死に至ることもあります。

一人で抱え込み、取り返しがつかなくなる前に、まずは相談してみませんか。

ハラスメント相談窓口  
「こころの耳電話相談」



## ようこそ手話の世界へ 福祉課（内線217）

これまでに紹介した手話写真の動画を見ることができます。



### デフ・ファミリーとコーダ・ファミリー

家族全員が聴覚障がい者、特にろう者の家族は「デフ・ファミリー」と呼ばれ、子どもは生まれたときから手話を使用する環境にあり、手話を第一言語として身に付けます。また、聴覚障がい者の親を持つ聞こえる子どもは「コーダ」、その家族は「コーダ・ファミリー」と呼ばれます。

コーダは、手話言語と音声言語、ろう文化と聴文化（聞こえる人が前提としている生活様式）の二つの言語と文化に触れます。そして、聴覚障がい者の親と暮らす中で、自然と視覚表現を大切にコミュニケーションを身に付けていきます。

デフ・ファミリーとコーダ・ファミリーは困っていることに気付かれないことが多くありますが、少しのサポートで安心して地域参加することができます。あなたの近くに聞こえない方や家族がいたら、聴者と聴覚障がい者が互いに歩み寄れる社会を目指して、少しの勇気と行動をお願いします。

### かんたん手話講座 「家族は何人ですか」

「家族」



両手で屋根型を作る



左手の下で右手の親指と小指を振る

「何人」



右手の指を順に折り曲げ、首を傾げる